



タンポポ魂

発行日 2019年(令和元年)7月19日

培遠中学校 校長 村上 啓二

www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu - baien/

○授業が楽しい ○当たり前のことができる ○地域に貢献する ○自分で決める

1学期の活躍が素晴らしい!!

◎地域貢献

○浦上団地青葉会でソーラン隊が5月18日第4回バラ祭りの開幕を飾りました。練習の成果を発揮しました。



○5月19日第52回福山ばら祭のフィナーレで、白石先生の指揮で、吹奏楽部が城南中学校と合同で演奏しました。



○地域の夏祭り、ソーラン隊が出演します。
7月27日(土)2回公演
18時～ 日吉台団地町内会夏祭り
19時～ 南吉田町内会夏祭り
※なお、南吉田町内会の売店での生徒ボランティアについては終了が遅い時間になるので、町内会長とも相談して、今年は実施しません。

◎生徒総会(6/18)

生徒会の皆さんが丁寧に準備を行い、整然と生徒総会が行われました。後半、ステージ上から各学級の代表者がアピールをしました。「協力」「団結」「助け合う」「集団」等の前向きなキーワードが繰り返され、爽やかでした。

◎自転車防犯安全教室(6/26)

1年生では、福山市市民局市民部生活安全推進課から藤原さん、志田原さん、福山東警察署から渡辺さんをお招きして、自転車の防犯、安全に関する講義を聞きました。実際に自転車に乗りながら指導もして頂きました。

◎地域テーマ募金(6/27)

広島県社会福祉会館で地域テーマ募金の助成交付式がありました。40万円の助成金を受け取りました。これからも地域貢献のために活用して参ります。ありがとうございました。

◎日曜日早朝、生徒150名参加(7/7)

春日学区青少年育成協議会の活動として、三角公園清掃ボランティアをしました。生徒は150名参加です。全校生徒の3分の1を超えました。驚きの「数」です。保護者の皆様のご参加ありがとうございました。



◎1学期最後の朝会(7/8)

生徒会のそれぞれの委員会から1学期の活動報告がありました。今の培遠中の集会では静寂が当たり前です。1学期の最後まで、みんなで聞くことができる集会を実現できました。

◎1年 福山の魅力調べ(総合的な学習の時間)(7/9)

4月から始まった福山の魅力調べ学習「福山の今と未来～自分たちのふるさとを持続可能な社会に～」で、テーマは11R「防災」、12R「教育」、13R「水」、14R「多文化共生」です。7月9日には、各クラス、尾道市防災センター、福山市立大学、福山上水場、ローズコムへと校外学習に出かけ、専門家からお話を伺いました。自ら課題を見つけて、課題解決する学習です。生徒が調べ学習を進める中で、中国新聞社の取材を受けて7月2日の朝刊に掲載されました。

7月2日
中国新聞

外国人住民とのまちづくり学ぶ
福山で多文化共生推進
地域にむくす外国人たちとのまろつきを学ぶ連続講座「福山多文化共生推進」が福山で始まった。初回の6月29日、福山市役所で、NPO法人多文化共生リソースセンター「東海(名古屋)」の土井佳彦代表理事(39)が講演した。

日本語教室のボランティアや外国人住民たち約80人が受講した。土井代表理事は、日本語が苦手な子どもを育ててもらえないなど、外国人住民を巡る課題を紹介。近年、特に地方で働く外国人が増えているとし、「外国人は人手不足の穴埋めじゃない。一方的な支援ではなく、どう一緒に地域をつくるかを考える必要がある」と呼び掛けた。

培遠中1年の松田大さん(12)は「偏見をなくしていきたい。あいさつから始める」と話していた。連続講座は残り4回。やさしい日本語講座や福山夏まつりでの外国人住民との交流などを予定している。

◎3年 校長面接(5/30～)

3年生の校長面接を5月から行いました。中学校生活での活動について質問した時の回答に感心しました。「部活動」「ボランティア」「委員会活動」「生活五訓」「勉強」「校外活動」等々、自分の言葉で、具体的に語れる生徒がたくさんいました。継続してきた力を感じました。1、2年生の頃に、十分でなかった人は、3年生となった今、気持ちを入れ替えて向き合っている姿がありました。充実した面接の時間でした。

◎第38回中学生の主張大会で発表(7/13)

北部市民センターで開催された主張大会で、33R 桑原美佑さんが、演題「輝く未来のため」を発表しました。堂々とした発表でした。発表後、他校の先生から、たくさん賞賛の言葉をいただきました。



◎県選手権大会結果(7/13) 12R 松山 みづき さん 100m 5 位入賞 おめでとうございます。